

九州地域における 次世代女性リーダー育成プロジェクト (WINK) 第2期

Women's Initiative for Next-generation in Kyushu

開催日時： 令和元年11月8日（金）13：30～17：30
 開催場所： 九州経済産業局 九経交流プラザ 大会議室
 主催： 九州経済産業局



プログラム

13:30～14:40 第1セッション
 講演「私たちの生活に繋がるSDGs」
 福津市 副市長 松田美幸 氏

14:50～16:20 第2セッション
 中間発表

16:30～17:30 第3セッション
 グループワーク



講演

「私たちの生活に繋がるSDGs」

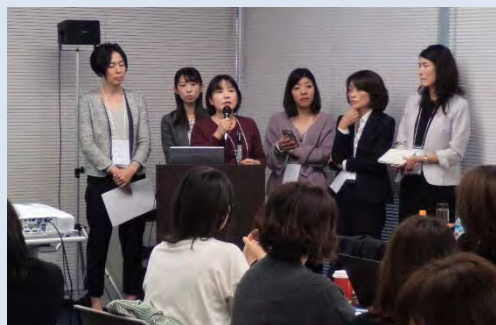


福津市 副市長
松田美幸 氏

令和元年度SDGs未来都市に選定された福津市の、地方創生SDGsに関する取組を中心にご講演頂きました。津屋崎千軒を核とした移住・交流プロジェクト等の具体事例を通じ、人々のつながりや環境保全と持続性を重視する「社会的連携経済」の実践が重要というお話がありました。このことにより地方自治体が抱える課題である、域内の経済循環の低さと地域コミュニティの担い手不足の解決を図っていくことを目指す必要性を理解しました。また、経済産業省や環境省が提供している「RESAS」や「地域経済循環分析ツール」の利用のご紹介は、グループワークでアクションプランの策定を行っている参加者にとって、非常に実践的で学びの多い時間となりました。

中間発表

各グループ7分の持ち時間で、2回目となる中間発表を行いました。第1セッションでご講演頂いた松田副市長からも全グループに対して貴重なアドバイスを頂きました。



グループワーク

SDGs 各テーマの目標達成に向けて、目指すべきゴールに向けたアクションプランの策定

中間発表でのアドバイスをもとに、12月の成果報告会に向けて、解決策の絞り込み作業を行いました。



参加者の声

- ・シンパシーを感じる自治体での事例を聞くことができ、有意義だった。
- ・改めて、SDGsの意義とこれまでの政策の経緯も含めた位置づけを理解することができた。福津市の取組を知り、地道で、人に根差した活動こそ持続可能な社会を実現していくものだと感じた。
- ・他のグループのプレゼンを聞いて「違うグループだから」という目線ではなく、全て自分事として取り入れ、このプロジェクトチーム全体として最後まで取り組んでいきたいと改めて感じた。